

2024年 中野若者会議

報告書



2025年3月

中野区 子ども教育部 育成活動推進課
(事業受託者：認定NPO法人カタリバ)

目次

① 中野若者会議とは

理念・概要・テーマ		P.2
若者会議のあり方		P.5
今年度の参加者概要		P.6
今年度の活動モデル		P.7
各回実施内容		P.9

② チャレンジ詳報

1. 情報発信×若者		P.16
2. 環境×生活		P.22
3. 多文化共生×コミュニティ		P.25
4. 居場所×中高生		P.28

③ 寄せられた感想

参加者アンケート		P.32
観覧者アンケート		P.36

①中野若者会議とは

理念・概要

大学生・社会人の視点を地域づくりにつなげるために、中野区ではどのようなアクションが必要なのでしょうか。

「若者会議」は、若者ならではの視点を区政や地域に生かすとともに、若者と地域のつながりを構築していくため2022年度に始まったプロジェクトです。2023年度は、2022年度提言した「若者会議のあり方」をもとに4つのテーマに分かれて活動し、2024年度もそれを一部継承する形で4つのテーマに分かれて活動しました。



今年度のテーマ

メンバーは、自分自身の興味・関心を原点に、取り組みたい「チャレンジ」を自分で選択していきます。フィールドワークやインタビューを経てテーマを深め、自分たちにしかできない「アクション」を実践する過程で、区長に対する提言をまとめていきます。

1	情報発信×若者 若者に中野区の情報を届けるには、どんな工夫が必要なのでしょうか。 「中野大好きナカノさん」などを事例に、新たな魅力発信を実践しながら提言しましょう。
2	環境×生活 持続可能な未来のために、私たちの生活をエコにしよう。 情報発信やイベントを通して、環境のためのプロジェクトに取り組みましょう。
3	多文化共生×コミュニティ 中野区には、たくさんの国の方が暮らしています。 グローバルな時代における、中野区らしいコミュニティのありかたを探り、提言しましょう。
4	居場所×中高生 中野区の中高生に、自分らしく自由に過ごせる居場所はあるでしょうか？ ハイティーン会議と連携しながら、居場所づくりを提言しましょう。

実施の背景

中野区基本構想（令和3年3月23日改定）において、「10年後に目指すまちの姿」が4つ定められました。



「(2) 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまち」において、「子どもたちは、未来に向けて、チャレンジしながら成長しています。子育て家庭は、地域社会に支えられ、安心して子育てをしています。子どもの育ちを、未来の希望として、地域全体で支えるまちを築いていきます。」という記載とともに、若者に対する考え方が下記のようにまとめられました。



若者のチャレンジを支援します

若者は、幅広い交流や様々な活動の機会などを通じて、チャレンジしながら成長しています。一人ひとりの課題の解決に向けて支える体制が整っています。

「若者会議のあり方」

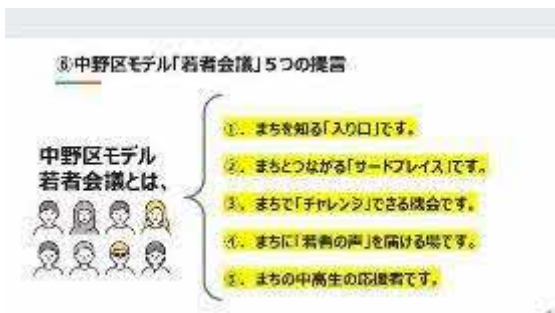
2022年度に、中野区において新しく始まった若者会議をどんな場として運営していくべきか、6ヶ月間にわたり「若者会議のあり方」について構想を進め、区長に提言を行いました。



「若者会議のあり方」提言のポイント



構想を進めるにあたって、全国の先進事例の研究を進めました。特に兵庫県尼崎市からはゲストをお招きし、先行事例を伺ったうえで調査を進めました。



最終的に5つのポイントを提言しました。地域とつながる機会を得にくい若者のために、若者会議がハブになっていくという趣旨です。



実際に2023年度のプログラムは、この提言書に沿って企画進行しました。若者会議によって構想された若者会議がついに本格的に始まりました。

今年度の参加者概要

29名が申し込み、うち25名が参加しました。



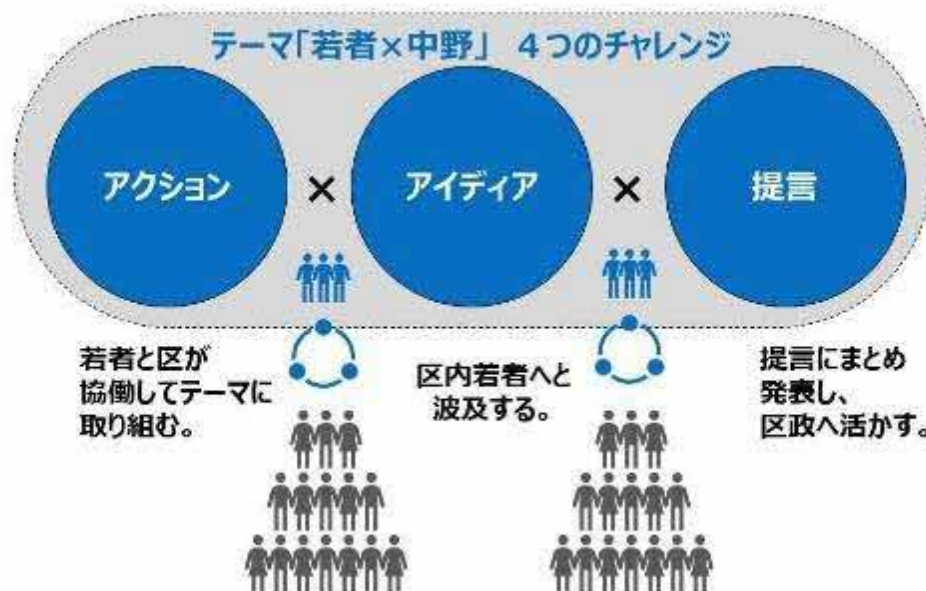
	区内在住	区外在住	合計	特記事項
学生	6	0	6	・留学生が1名参加 ・うち2名が2期から継続参加
一般	17 (16)	2	19 (18)	・うち5名が継続参加 ・うち1名が外国籍 ・うち3名が子育て中 ・ハイティーン会議の修了者2名
合計	23 (22)	2	25 (24)	()の数字は、活動を修了した人数

今年度のチラシのモデルとなったのは、若者会議2期のメンバーです。2024年5月に移転した、中野区役所新庁舎で撮影を行いました。

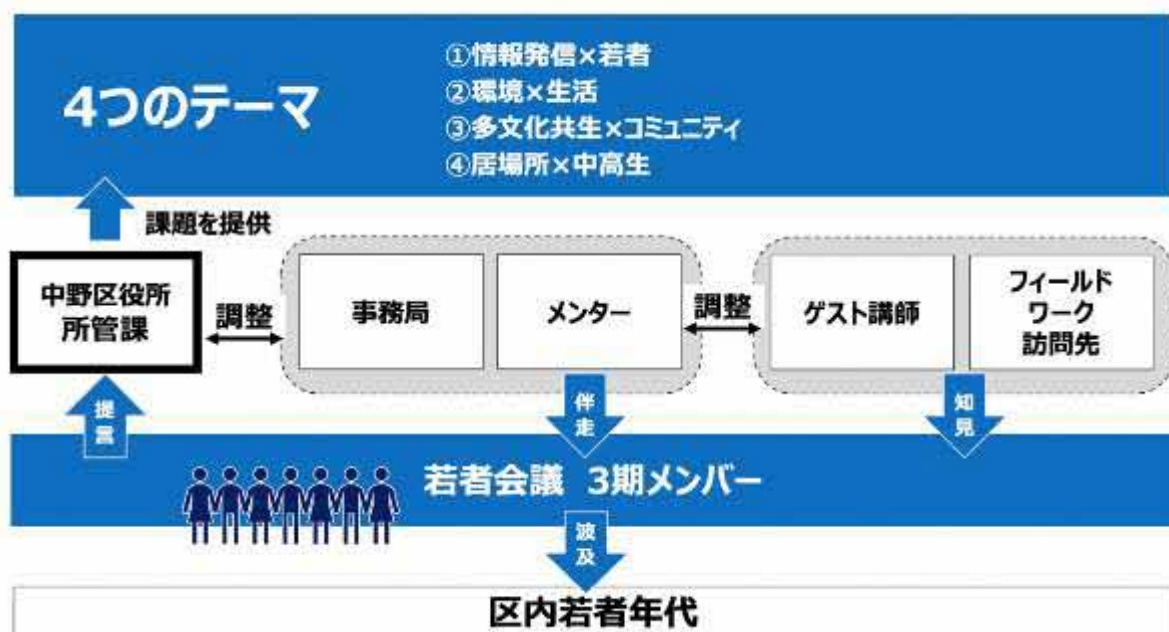


今年度の活動モデル

4つのテーマにもとづいて、若者と区役所所管課が協働してアクションを起こし、区長への提言を行うのが2024年度中野若者会議の活動モデルです。



特に先進事例である区外で活動する団体へのフィールドワークや情報交換を行うことを重視し、テーマごとのメンターが活動を支えながら、プログラムを進行しました。



年間スケジュール

中野若者会議は7月から12月にかけて、毎月第3日曜日に計7回のプログラムを実施しました。スケジュールの合間には、多数の自主活動も行われました。

また、同日開催となったハイティーン会議との連携・協働も企図しました。

■ハイティーン会議・若者会議の年間スケジュール■

	(参考) ハイティーン会議		若者会議		全体の流れ
7月14日（日）	第1回	10:00～13:00	第1回	14:00～17:00	オリエンテーション
7月28日（日）	第2回	10:00～13:00	第2回	14:00～17:00	テーマ決め
8月18日（日）	第3回	10:00～13:00	第3回	14:00～17:00	アクション
9月15日（日）	第4回	10:00～13:00	第4回	14:00～17:00	アクション準備
9月29日（日）	課外	14:00～			中高生の居場所イベント
10月20日（日）	第5回	10:00～17:00	第5回	10:00～17:00	アクション
11月9日（土）			課外	9:00～	エコフェアイベント
11月10日（日）	第6回	10:00～13:00			関連課ヒアリング・
11月16日（土）			課外	9:00～	ハレノバイベント
11月24日（日）	報告会	14:00～17:00	第6回	10:00～17:00	提言準備・ハイティーン 会議報告会見学
12月15日（日）	見学	13:00～17:00	報告会	13:00～17:00	提言

各回実施内容

DAY1 7月14日 14:00~17:00

お互いを知り、つくりかたを学ぶ。

1 名刺の授与・自己紹介シート

3期メンバー専用の名刺を授与するとともに、自己紹介シートを作成してオリエンテーションを行いました。



2 中野若者会議の構想紹介

(高野あいさん/若者会議1期メンバー)

中野若者会議のあり方の構想を発表しました。



3 若者会議先進事例の紹介 ゲストトーク（１）

(原田 伊織さん/ユースカウンシル事業 Up to You！)

尼崎市の事例についてレクチャーしていただきました。



4 若者会議先進事例の紹介 ゲストトーク（２）

(檜島 杏奈さん/はちおうじ若者会議・八王子市職員)

八王子市の事例についてレクチャーしていただきました。



5 若者会議先進事例の紹介 ゲストトーク（３）

(高野 義裕さん/合同会社MichiLab・多摩市若者会議)

多摩市の事例についてレクチャーしていただきました。



6 課外活動

終了後は中野セントラルパークで、希望者による懇親会をかねたピクニックを行いました。

DAY2 7月28日 14:00~17:00

中野を知り、テーマを選ぶ。

1 テーマ分けグループワーク

自分たちが活動したいテーマはどれか、
ワールドカフェ形式でテーブルを周り
ながら意見を出し合いました。



2 テーマ選びのコツ紹介

(あゆみん/若者会議1期2期メンバー)
任意団体ハレノバ設立の経緯やテーマ
選びのポイントを説明していただきました。



3 チーム結成

最終的に結成したチームごとにお互いが
なぜこのテーマでの活動に決めたのか、
紹介しました。このチームで本格的な
活動がついに始まります。



4 多摩市若者会議訪問

終了後の課外活動として、有志で
多摩市若者会議が活動している
「Michiカフェ」を訪問しました。



DAY3 8月18日 14:00~17:00

区内外へフィールドワーク！

1 チーム紹介

この日から、チームごとに分かれての活動が本格化していきます。まずはどんな顔ぶれでチームを結成したか、お互いに紹介しました。



2 区内フィールドワーク

4つのテーマに沿って、区内の事例を知るためのフィールドワークに出発しました。チームごとに現地解散し、それぞれ懇親会等を行いました。



	チーム	訪問先
1	情報発信×若者	NAKANO HAKO（中野区中野）
2	環境×生活	四季の森公園・中野駅周辺街頭調査（中野区中野）
3	多文化共生×コミュニティ	&tenna（中野区大和町） 小杉湯（杉並区高円寺）
4	居場所×中高生	駄可笑屋敷（杉並区方南町）



DAY4 9月15日 14:00~17:00

中野区役所へのヒアリング

提言に向けて中野区役所へヒアリング

4つのテーマに関連する所管課をお呼びして現時点での方向性の共有やヒアリングをしました。



	チーム	ヒアリング先
①	情報発信×若者	文化振興・多文化共生推進課（シティプロモーション係） (別日課外調査：中野区観光協会)
②	環境×生活	環境課（環境・緑化推進係） (別日課外調査：大手飲料メーカー・大手流通)
③	多文化共生×コミュニティ	文化振興・多文化共生推進課（文化振興・多文化共生推進係） (別日課外調査：中野区国際交流協会ANIC)
④	居場所×中高生	育成活動推進課（若者活動支援係）+ NPOカタリバ

1 アクションDAYに向けた準備

テーマごとに提言に向けてどんなアクションをするのか計画を立てました。



	チーム	アクション計画
①	情報発信×若者	マップ・SNSアカウントの作成
②	環境×生活	11/9 エコフェア出店
③	多文化共生×コミュニティ	11/16 ハレノバイイベントへの参加
④	居場所×中高生	9/29 NAKANO文庫の伴走 10/20 ハイティーンフェスの伴走

DAY5 10月20日 10:00~17:00

アクションデー

1 中野ハイティーンフェス

ハイティーン会議の中野ハイティーンフェスで一部のチームがアクションをしました。

- ・情報発信×若者：マップの意見収集
- ・居場所×中高生：中高生のイベントの伴走
- ・多文化共生×コミュニティ：アンケート調査



2 アクション準備

次のアクションに向けた準備や、2ヶ月後に迫った提言プレゼンテーションに向けて、テーマごとに議論を進めました。



3 別日でアクション

課外活動として別日程でテーマごとにアクションを行いました。

- ・9/29 NAKANO文庫のサポート
- ・11/9 エコフェアブース出店
- ・11/16 ハレノバ多国籍大鍋イベントサポート



DAY6 11月24日 10:00～17:00

提言を準備しよう！

1 オリエンテーション

1ヶ月後に迫った提言プレゼンテーションに向けて、準備方法の確認を行いました。



2 提言準備・中間報告

テーマごとに議論を進めました。
どんな提言をするのか中間報告をしました。



3 中野ハイティーン会議報告会見学

終了後の課外活動として、中野ハイティーン会議の報告会を見学しました。
中高生の熱のこもったプレゼンテーションに触れて、若者会議メンバーも自分たちの発表を見直すきっかけになりました。



4 多摩市若者会議訪問

終了後の課外活動として有志で、多摩市若者会議が活動している「Michiカフェ」で開催された東京若者青年交流会に参加しました。



DAY7 12月15日 13:00~17:00

区長に提言をプレゼンテーションしよう！

1 提言プレゼンテーション

区長・所管課へのプレゼンテーションを4チームがやり遂げました。

プレゼンテーションの詳細は次ページをご参照ください。

ゲスト：両角達平先生（日本福祉大学 社会福祉学部 専任講師）



2 対話タイム

参加者から付箋でコメントをもらいながら対話しました。

3 座談会

各テーマの代表者が、区長・両角達平先生と対話しました。



4 振り返りワーク

ワークシートを使って若者会議の6ヶ月間をふりかえり、お互いへの感謝を伝えました。また、今後の地域との関わり方の事例を紹介しました。



5 修了証の授与

事務局より修了証を授与しました。

6 懇親会

終了後の課外活動として有志で懇親会を行いました。



②チャレンジ詳報

2024年度の若者会議では、4つのテーマに分かれてチャレンジしました。この章では、それぞれの歩みを紹介します。

1. 情報発信×若者

若者に中野区の情報を届けるには、どんな工夫が必要なのでしょうか。「中野大好きナカノさん」などを事例に、新たな魅力発信を実践しながら区への提言をまとめるテーマです。

メンバー

- こは (地図好きな大学生／チア経験者)
たくちゃん (野方で(株)xalibre共同創業／本を積む)
みなみ (管理栄養士養成課程大学生／任意団体代表)
もえ (まちづくり専攻大学生／旅行)
コウヘイ (映像・画像系クリエイター／中野観光レポーター)
とうま (サッカー／エンジニア／中野マップのマップ(仮)作成)

チャレンジのきっかけ

情報発信をテーマに、区や地域の情報が収集しにくいと感じている大学生と社会人メンバーが集まりました。特にどうしたら若者が必要としている情報を届けられるのかという視点で活動していきました。



アクションの内容と結果

時期	内容	補足
7月	チーム結成	
8月	マップの作成	中野マップのマップ作成
9月	ヒアリング	シティプロモーション係 中野区観光協会
10月	SNSアカウント作成・運用 アンケート調査	なかの東北絆まつりPR マップのマップについて調査
11月	SNSの運用	ハレノバイイベントのPR
12月	提言プレゼンテーション	

チャレンジのポイント

アイデアにとどまらず、SNSを使ってイベントの情報を届けたり、実際に情報集約サイトを作成するアクションをしたことがポイントです。

①SNSの運用

中野若者会議としては初めてアカウントを作成し、なかの東北絆まつりのカウントダウンやハレノバイイベントを紹介しSNSを盛り上げる試みをしました。



②中野マップのマップ作成

区の発信情報が集約されていないことに不便さを感じ、区内の便利なマップを集約するサイトを作成しました。

参考：<https://nakano-mapsite.web.app/index.html>

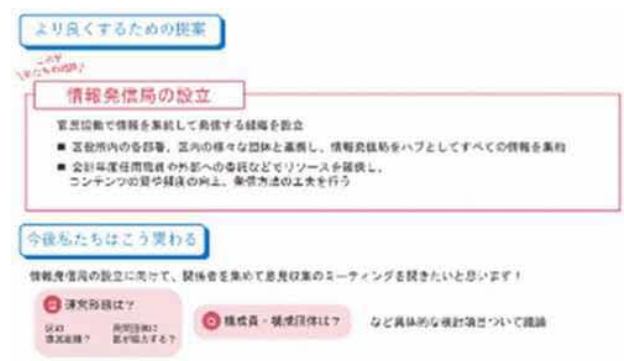


報告会での提言

情報発信を試行した観点から、欲しい情報が届くためのSNSの活用方法について提言しました。

マップの情報集約を試行した観点から、1つのマップ上に複数レイヤーを重ねてあらゆる区内のマップを集約することを提言しました。

また、集約された情報を注目されるように発信するためのハブとなる官民協働組織「情報発信局の設立」を提言しました。



関連課からのフィードバック

◎:全部実施可能 ○:一部実施可能 ●:実施済み △:検討中 ×:実施不可

提言の主旨	担当部 (担当課)	対応 方針	説明・理由
1中野区についての提言 (1)中野区の情報発信のための、「意見収集のミーティング」の開催を希望します。開催にあたり、関係所管課の参加をお願いします。	企画部 (広聴・広報課)	○	若者会議で開催の折には参加、協力します。

提言の要旨	担当部 (担当課)	対応 方針	説明・理由
1 中野区についての提言 (1)中野区の情報発信のための、「意見収集のミーティング」の開催を希望します。開催にあたり、関係所管課の参加をお願いします。	区民部 (文化振興・多文化共生推進課)	○	ご提案の意見収集のミーティングを開催する予定はありませんが、ご提案を参考に、様々な手法で区民の皆さんの関わりをいただきながら進めていきます。
(2) 情報を集約・発信する組織「情報発信局」を設立しませんか。実現可能性がある場合、運営形態や構成メンバーなどの検討も上記(1)「意見収集のミーティング」で継続的に検討しましょう。 【中野区情報発信局(仮)概要】 ■ミッション(案) (ア)情報を区民へ届けるために、SNSやウェブページの宣伝をする(手段:駅や区役所のデジタルサイネージや転入時の口頭説明などで)。 (イ)区からの情報、区への情報の集約・一元化を行う。 例1:情報を1箇所にまとめ、工夫した発信をする (例:あらゆる中野に関するマップを1つのマップ上に表示する、HPやSNS内にてだけで案内を完結させる)。 例2:中野区関連のSNSアカウント・ホームページの一覧を作成・公開する。 例3:公式LINEの活用度を高めるための活性化 例4:フィルムコミッションの活性化 (ウ)中野区の注目度を高めるため、高クオリティ・高頻度な内容の発信を行いませんか。特に動画発信には有効性があり、効果的な活用を求めます。 ■役割:区役所内の各部署、区内の様々な団体と連携し、情報発信局をハブとしてすべての情報を集約する ■手法:会計年度任用職員や外部への委託などでリソースを確保し、コンテンツの質や頻度の向上、発信方法の工夫を行う。区職員だけでなく、広く区民からもアドバイザーボード、プロボノ実務者が参画できる仕組み・資源を準備する。	企画部 (広聴・広報課)	●	デジタルサイネージやチラシ、区報等でSNSの周知を行っています。 また、区のSNSや区政情報を取得できるアプリについて、一覧のページを既に作成し、HP上で公開しています。 https://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/kusei/public/sns/sns.html 今年度から新たな動画編集クラウドサービスを導入し、動画での発信にも力を入れており、今後も分かりやすい情報発信に努めていきます。

提言の要旨	担当部 (担当課)	対応 方針	説明・理由
同上	区民部 (文化振興・多文化共生推進課)	△	運営組織については文化振興・多文化共生推進課では設立を予定していませんが、提言のあった施策(情報発信の集約、フィルムコミッション、動画発信)などについては、区民をはじめとした参加機会を設けながら促進していきます。
2 中野若者会議についての提言 (1)中野若者会議のロゴ作成、そのほか、若者会議ブランドとしてのブランディングを進めませんか。	子ども教育部 (育成活動推進課)	△	若者会議は参加者が主体的に活動し、若者の声を地域や行政に届けていく場です。どのようにブランディングをしていくかの詳細は、当事者である参加メンバーと一緒に検討していきます。
2 中野若者会議についての提言 (2)会計年度にこだわらず、複数年度単位で中野若者会議の活動を継続できるようにしませんか。	子ども教育部 (育成活動推進課)	×	若者会議の事業運営委託が単年度契約であるため、年度で区切った活動としていますが、テーマに関しては次年度に引き継いでいくなど、継続して活動できる仕組みづくりについて検討していきます。
2 中野若者会議についての提言 (3)若者会議の提言に対する実現の進み具合のフィードバックを、年3回程度に分けて報告いただけませんか。今年度の提言が、来年・再来年とどのように進んでいくのか知らせていただきたいです。	子ども教育部 (育成活動推進課)	◎	各所管課からの上・下半期ごとの対応状況のフィードバックを若者会議へ随時共有します。なお、年度末には年間を通じた対応状況を区HPにアップしていきます。

提言の要旨	担当部 (担当課)	対応 方針	説明・理由
2 中野若者会議についての提言 (4)中野サンプラザの今後をはじめとする駅前再開発についても意見交換をしたいので、来期の中野若者会議において都市計画やまちづくり関連のテーマを設けていただきたいです。	子ども教育部 (育成活動推進課) 企画部 (広聴・広報課) まちづくり推進部 (中野駅周辺まちづくり課)	×	「中野駅新北口駅前エリアのまちづくり」については、区民の方々からまちづくりに関する疑問やご意見をうかがうため、令和7年2月22日に「区民と区長のタウンミーティング」を実施しました。今後、必要に応じて区民との意見交換会等の実施についても検討していきます。 一方、中野駅周辺における市街地再開発事業については、民間事業者により実施される都市計画事業であり、若者会議のテーマとして意見交換することは馴染まないと考えますが、中野駅周辺のまちづくりに関するご意見やご不明点がございましたら、中野駅周辺まちづくり課までお問い合わせください。
2 中野若者会議についての提言 (5)子ども食堂の活性化を企業連携で推進する等、食育についての活動をしたいので、来期の中野若者会議において関連するテーマを設けていただきたいです。	子ども教育部 (育成活動推進課)	△	本提言も踏まえたうえで、テーマを検討していきます。

2.環境×生活

持続可能な未来のために、私たちの生活をエコにしよう。情報発信やイベントを通して、環境のためのプロジェクトに取り組み、区への提言をまとめるテーマです。

メンバー

- ノブ （子育てに奮闘中の頼れる兄貴分）
- ありー （多文化共生のフリマに出展）
- みき （若者会議以外にもアクティブに活動）
- だいき （ハイティーン会議からの継続の大先輩）
- さた （常に鋭い意見をくれる存在）
- せら （企業訪問担当した大学生）
- たっちゃん（中野区在勤、唯一の足立区在住者）



チャレンジのきっかけ

昨年の提言を経てなかのエコフェアへの出展が決まっていました。「環境」は、子どもから大人まで関心が低い人が多いテーマだということに気付き、危機感を感じたメンバーが集まりました。

アクションの内容と結果

時期	内容	補足
7月	チーム結成	
8月	環境課との会議 街頭調査	エコフェアに向けてヒアリング 中野駅周辺でエコ意識を区民へ調査
9月	エコフェア準備	大学生へのヒアリング
10月	企業訪問・ヒアリング エコフェア準備	大手流通会社訪問、協賛取り付け 大手飲料メーカーと会議、協賛取り付け
11月	中野エコフェア出展	楽しくエコを学べるブースで意識調査
12月	提言プレゼンテーション	

チャレンジのポイント

企業2社から協賛を得て、子どもと大人が楽しくエコが学べるブースを出展しました。

特に区民のエコへの意識変容の可能性を深掘りしました。区との対話を丁寧に重ねることで、課題と対策に齟齬がないようにしました。

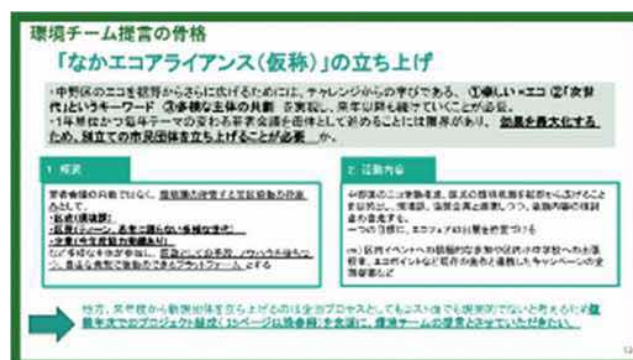
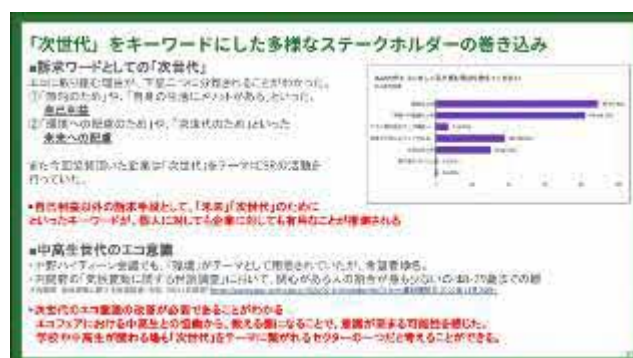


報告会での提言

調査の結果から、エコのポジティブなイメージ「おしゃれ・楽しい」を広げることが重要だと結論づけた。

「次世代」というキーワードで協力をしたい企業や人がいることから、エコ試作に関する協働の可能性が広がりました。

また、官民学コラボレーションで楽しいエコのイメージ普及を進めるための「なかのエコアライアンス（仮称）」構想を提言しました。



関連課からのフィードバック

◎:全部実施可能 ○:一部実施可能 ●:実施済み △:検討中 ×:実施不可

提言の要旨	担当部 (担当課)	対応 方針	説明・理由
1 中野若者会議のチーム分けにおいて、区へ提言することだけをゴールとするのではなく、地域を知り交流することを目的とする敷居の低いチームを設置を希望します。	子ども教育部 (育成活動推進課)	△	若者会議は、若者とまちを繋ぐハブ的役割を担うことによって、若者が主体的に活動し、若者の声を行政に届けることを主眼に置いています。政策提言を行わない敷居の低いチームの設定については、若者会議のあり方も踏まえたうえで検討します。
2 中野若者会議に、より多様な文化的背景を持った若者が集まるよう、募集時の情報発信の幅を広げる工夫をお願いします。	子ども教育部 (育成活動推進課)	○	参加メンバーの募集にあたっては、様々な区有施設や関係機関、大学等にチラシを配布するなど、より多くの方に情報が届くよう、引き続き工夫していきます。
1 「なかエコアライアンス(仮称)」の立ち上げを目指したロードマップ、アライアンス構想の検討提言書で示したロードマップに対し、実現可否など回答をいただきたいです。	環境部 (環境課)	○	ロードマップについては、二年目までの活動は普及啓発活動として十分実施できると考えています。三年目のアライアンス、広報等については、他での事例等を研究しながら若者会議と一緒に検討していきます。
2 次年度若者会議、ハイティーン(HT)会議におけるアライアンス試行ロードマップで示した通り、来年度は若者会議、ハイティーン会議と連携して試行的にアライアンスを形成することとしているため、体制構築等の調整をいただきたい。具体的な事項は以下の3点。 (1)若者会議における環境Tの設定 (2)HT会議における環境Tの設定、テーマ選定に際した若者会議メンバーからのブリーフィング (3)上記(2)が、今年度同様集まらないor他の事情で難しいとき)HT会議の時間外活動として、エコフェアブース参加機会の調整、告知機会の確保	子ども教育部 (育成活動推進課)	△	(1)次年度の環境チームの設定については、これまでの提言内容や若者自身の主体的な参画が継続できるかという観点も踏まえ、検討していきます。 (2)ハイティーン会議のチャレンジテーマについては、ハイティーン会議参加メンバーの意思によって設定しています。ブリーフィングなどに関しては、若者会議とハイティーン会議との関わり方の観点も踏まえて、検討していきます。 (3)ハイティーン会議の活動やイベント実施内容については、参加メンバーの意向によるところが大きいです。中高生に対する告知など若者会議の活動周知や交流については、検討していきます。

提言の要旨	担当部 (担当課)	対応 方針	説明・理由
3 来年度のエコフェアでのブースの確約 来年度試行するアライアンスの一つの目標をエコフェアの出展としているところ、来年度も引き続きエコフェアでの1ブース以上を若者会議・ハイティーン会議として確保・柔軟に企画等対応をいただきたいです。	環境部 (環境課)	○	来年度のエコフェアでのブースの確約について、配置は他の出展団体との調整になりますが、出展ブースについては確保していきます。
4 来年度に向けた体制構築、所管課との連携環境課の担当者がアライアンスの設立を見据えて、来年度の若者会議・ハイティーン会議に伴走する体制の構築を希望します。	環境部 (環境課)	◎	来年度の伴走する体制については、チームが発足した
5 企業協賛の取り付け協力 企業側からは、中野区役所クレジットのある依頼書等があれば幅広く協力できる可能性は高いとの旨。若者会議への企業担当者参加などより実のある共創を実現するために、連携のあり方について柔軟な対応をお願いします。	環境部 (環境課)	○	企業の協賛、その取り付けについて、内容により可能

3.多文化共生×コミュニティ

中野区には、たくさんの国の方が暮らしています。グローバルな時代における、中野区らしいコミュニティのありかたを探り、区への提言をまとめるテーマです。

メンバー

あやー (千葉出身／在住2年／会社員)
あやきゃん (北海道出身／在住6年／会社員)
コウキン (中国出身／在住／留学生)
しい (東京出身／在住4年／会社員)
しほちゃん (東京出身／在住2年／育休中)
もこ (中野出身／在住21年／学生)
りん (台湾出身／在住1年／会社員)



チャレンジのきっかけ

コミュニティやイベントに興味があったり、中野区に住んでいる若者と繋がりたい、多文化交流がしたいというメンバーが集まり活動しました。

アクションの内容と結果

時期	内容	補足
7月	チーム結成	
8月	フィールドワーク	&tenna（中野区大和町）、小杉湯（杉並区高円寺）
9月	ヒアリング	中野区、中野区国際交流協会（ANIC）
10月	アンケート調査	ハイティーンフェス、WEB調査
11月	イベントに参加	ハレノバ多文化共生イベント
12月	提言プレゼンテーション	

チャレンジのポイント

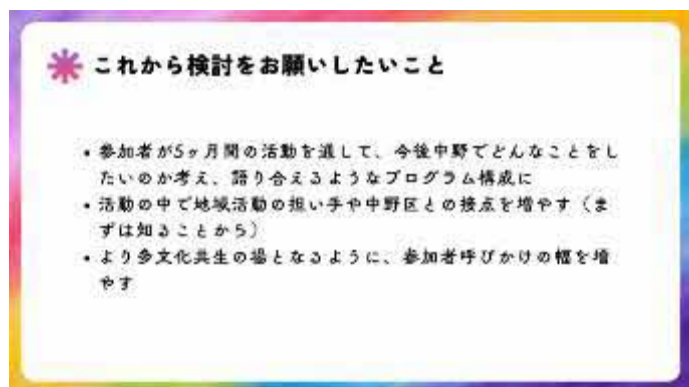
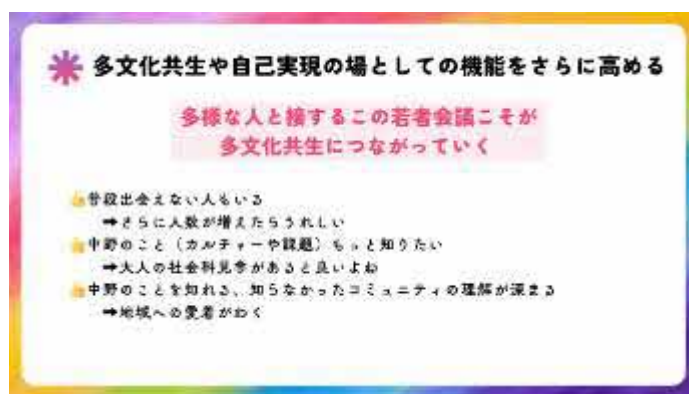
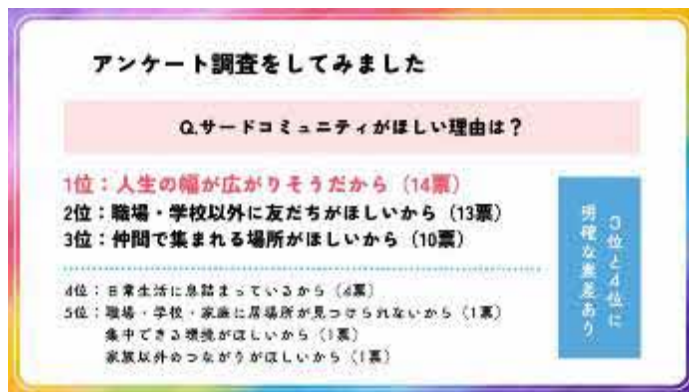
サードプレイスについて、担い手と受け手両方の観点から調査をしました。
実際にコミュニティの場を作る任意団体のイベントの運営を体験しました。



報告会での提言

調査結果から、若者会議のあり方として、多文化共生や自己実現の場としての機能をさらに高めるために人数を増やすこと、大人の社会科見学の実施などを提言しました。

地域活動の担い手側の観点から、中野若者会議のあり方として、担い手と想いを持つ区民をつなげるために、活動の中で地域活動の担い手や中野区との接点を増やすことを提言しました。



関連課からのフィードバック

◎:全部実施可能 ○:一部実施可能 ●:実施済み △:検討中 ×:実施不可

提言の要旨	担当部 (担当課)	対応 方針	説明・理由
1 中野若者会議のチーム分けにおいて、区へ提言することだけをゴールとするのではなく、地域を知り交流することを目的とする敷居の低いチームの設置を希望します。	子ども 教育部 (育成活動 推進課)	△	若者会議は、若者とまちを繋ぐハブ的役割を担うことによって、若者が主体的に活動し、若者の声を行政に届けることを主眼に置いています。政策提言を行わない敷居の低いチームの設定については、若者会議のあり方も踏まえたくえで検討する。
2 中野若者会議に、より多様な文化的背景を持った若者が集まるよう、募集時の情報発信の幅を広げる工夫をお願いします。	子ども 教育部 (育成活動 推進課)	○	参加メンバーの募集にあたっては、様々な区有施設や関係機関、大学等にチラシを配布するなど、より多くの方に情報が届くよう、引き続き工夫していきます。

4.居場所×中高生

中野区の中高生に、自分らしく自由に過ごせる居場所はあるでしょうか？ハイティーン会議と連携しながら、居場所づくりを提言します。

メンバー

- べーたて（中野区歴約1年の社会人）
- ほしけん（中野区歴15年の大学1年生）
- ちばみう（中野区歴約半年の社会人）
- しゅう（中野区歴約4年の社会人3年生）



チャレンジのきっかけ

中高生のサポートがしたいという強い気持ちを持った若者が集まりました。中野ハイティーン会議から継続で参加している大学生と社会人1～3年目の若いチームです。

アクションの内容と結果

時期	内容	補足
7月	チーム結成	
8月	ハイティーン会議、フィールドワーク	駄可笑屋敷 (杉並区方南町)
9月	ハイティーン会議、ヒアリング NAKANO文庫イベントサポート	育成活動推進課 NPOカタリバ
10月	ハイティーンフェスサポート	フリースペースなかの
11月	中野区関係者へのヒアリング ハイティーン会議報告会	
12月	提言プレゼンテーション	

チャレンジのポイント

ハイティーン会議の居場所チームの「サポーター」として、ハイティーン会議事務局の「メンター」と協力しながら中高生のチャレンジを応援しました。そのプロセスを通して、中高生の居場所づくりのポイントを見出し、提言に結びつけました。



報告会での提言

中高生の伴走の経験を経て、
若者が中高生の応援者として
担うべき機能として、世代を
超えた地域交流や地域との繋
ぎ目としての役割を提言しま
した。

デメリットを提示した上で、
若者会議の中高生伴走機能を
分化したチームの組成と研修
の実施を提案しました。

また、若者会議の募集要項
の明確化と近隣大学の
ボランティアセンター等への
働きかけを提案しました。

3.チャレンジしてわかったこと

メリットとデメリット

1…中野区民である若者と中高生との交流になる

年齢や性別が近いからこそ会話が盛んになり、距離も近まる！ハイティーンフェスが盛り上がる！

2…多様な大人が関わることでハイティーンを手厚くサポートできる

進め方の相談や壁打ち、活動時間別のミーティングの開催

3…地域と連携する仲介役になれる

大学や地域の商店、人などと意外な繋がりがある！フィールドワーク先の検討



反面、若者会議とハイティーン会議、両方に参加する必要があり、
負担が大きい

5.区長への提言

【提言③】サポート研修の実施

【理想的ハイティーンサポートチーム】

ハイティーンに興味関心を高め、中高生のアイデアを実現するためのプロセスや手段を導けるス
キルを持ったメンバー

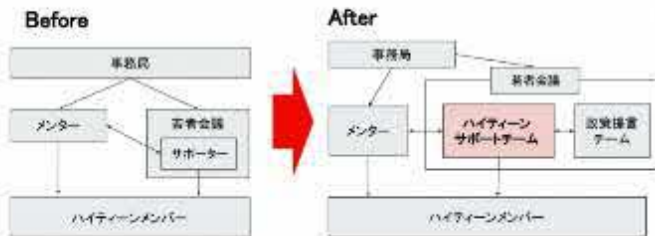
<具体的には>

- ◇ ハイティーンの特長関心を高め取り
 - 質問の仕方に沿ったコミュニケーション研修を実施する
- ◇ 中高生のアイデアを実現するためのプロセスや手段を導けるスキル
 - 進め方の全体像の認識を促す



5.区長への提言

提言①若者会議の中高生伴走機能を分化したチームづくり



5.区長への提言

【提言②】募集要項の明確化・参加の呼びかけ

- 近隣大学への働きかけをしてほしい
 - ① 明治大学、聖光学院大学などといった各大学
のボランティアセンターにポスターやチラシを
かけてもらう機会を設けて区側一各大学へ
アプローチをかけてほしい
- 現行の募集要項をブラッシュアップしてほしい

各チャレンジチームの中に「ハイティーン」のサポート
に特化したチームと明示しておく
(支援のセッションの仕方を工夫する)

報告会での意見表明・関連課からのフィードバック

◎:全部実施可能 ○:一部実施可能 ●:実施済み △:検討中 ×:実施不可

提言の要旨	担当部 (担当課)	対応 方針	説明・理由
1 来期以降の若者会議において「中高生の居場所」をテーマに活動する場合は、若者の希望や負担感に配慮して、中高生を伴走するサポートチームと政策提言チームに分ける等の工夫をお願いします。	子ども 教育部 (育成活動 推進課)	×	若者会議と中高生の関わりについては、イベント実施や課外活動時などにおいて参加メンバーが交流・サポートすることで、お互いの活動に相乗効果が生まれることを目指していきます。中高生のサポートのみに限定したチームを設ける予定はありませんが、中高生との関わり方については当該年度の参加メンバーとも一緒に検討していきます。
2 若者会議メンバーに中高生をサポートする役割を求める場合、その旨を募集要項に明記してください。	子ども 教育部 (育成活動 推進課)	○	本提言について踏まえたうえで、中高生のサポートに関する内容がわかるような募集要項を作成します。
3 若者会議メンバーに中高生をサポートする役割を求める場合、中高生をサポートする手法やスタンスについて学ぶサポート研修を実施してください。	子ども 教育部 (育成活動 推進課)	△	運営事業者と連携しながら、中高生のサポートに関する手法やスタンスについて学ぶ機会をどのように提供できるか検討していきます。
4 中野若者会議のさらなる活動、発展のため、先進的な地域を視察・交流するための予算があると望ましいです。また、そうした機会に区職員の積極的な参加を希望します。	子ども 教育部 (育成活動 推進課)	○	令和7年度においては、これまでよりも課外活動や先進自治体の視察などに関して充実させる予定です。
5 他地域の若者会議等を中野にお招きして、お互いの活動をさらに充実させるために、視察・交流できる機会があると望ましいです。	子ども 教育部 (育成活動 推進課)	△	若者会議を充実させるために、どのような視察・交流が実施できるのかについて、令和7年度の参加メンバーとも一緒に検討していきます。

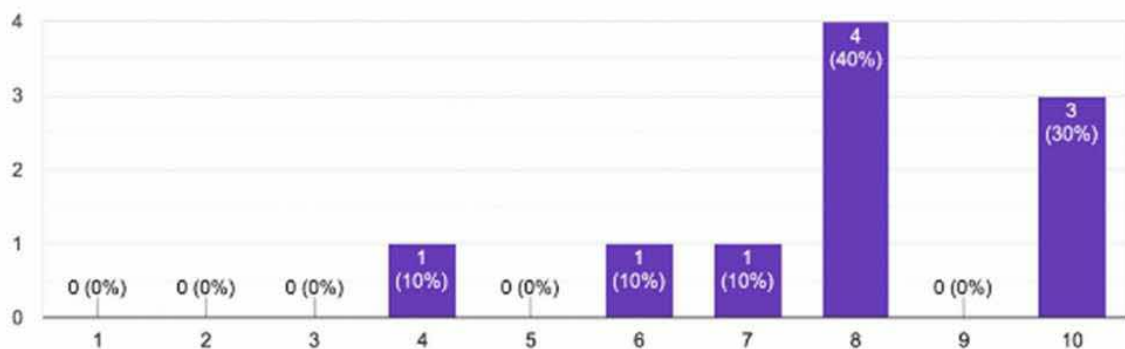
③ 寄せられた感想

プログラムを終え、参加者はワークシートを活用した振り返りや、プログラム全体に対するアンケートに臨みました。ここでは、寄せられた回答をもとに、2024年度の若者会議3期に対する参加者からの感想や評価を紹介します。

参加者アンケート（無記名）

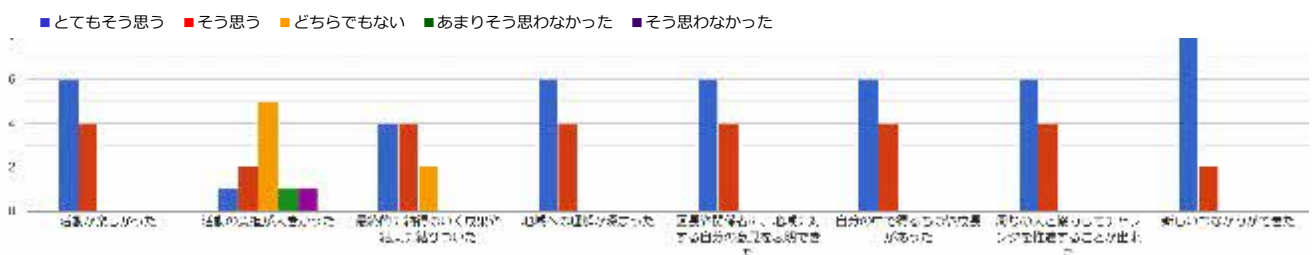
若者会議全体に対する平均満足度：7.2/10

今年度のプログラム満足度はどのくらいですか？
10件の回答



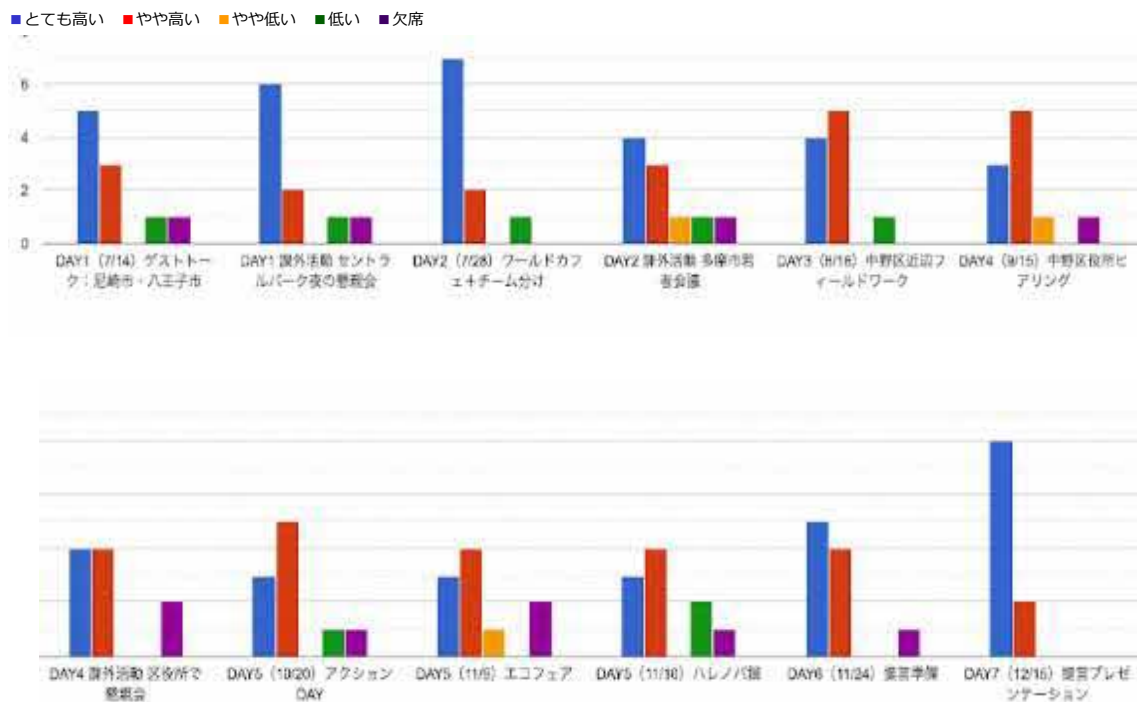
若者会議についての評価

活動の負担感にはバラつきがある一方、新しい繋がりや地域への理解、意見を表明できたことなど評価は非常に高かったです。



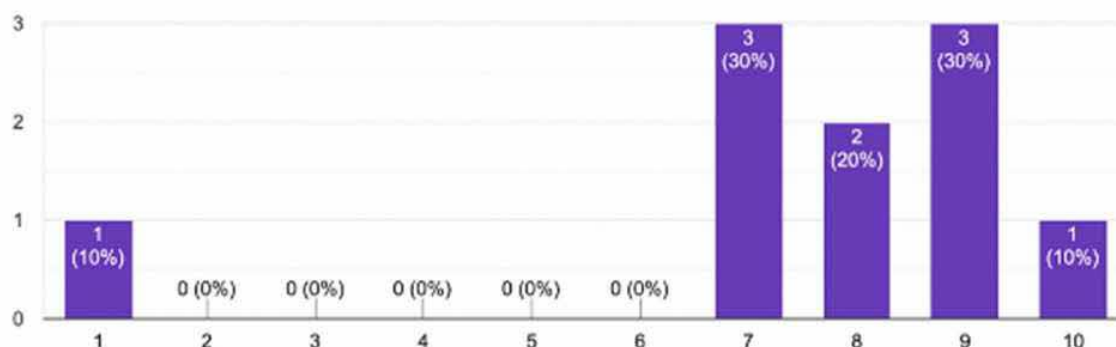
プログラムごとの満足度

前半の満足度が比較的高いものの、提言を形にしていく作業が本格化する時期にはモチベーションにばらつきがあったことがわかります。その分、最終提言の満足度は非常に高いです。



メンター事務局に対する平均満足度：7.5/10

メンターや事務局との関わり（サポートを受けたり...一緒に活動したり）の満足度はどのくらいですか？
10件の回答



意見・感想（一部抜粋）

プログラムについて

- ・月1回無理のない程度関わられたこと。
- ・中野若者会議の名を使って様々な場に参加させていただいた。
- ・参加のハードルがめちゃくちゃ高い印象はなく、可能な範囲での参加がしやすかった。

チームについて

- ・大学生ががんばってくれました。
- ・色々な人に会えた。官民で作って行く事が出来たこと。
- ・参加者同士でつながれたこと、区のことを深く知れたこと。
- ・若者会議に参加しなければ出会えなかったような仲間がたくさんできたこと。
- ・いつもなんとなく日常生活を送っているだけだと、地域との繋がりは中々持たないので、本当に貴重な機会だった。

区との連携について

- ・区からテーマを与えられるのではなく、テーマが明確に決まっていなかったからこそ、私たちが普段中野区で生活している中で感じている疑問や課題、それに対する意見を率直に提案できたのが良かったです。
- ・区の課題や行政でどこまでできるか分かった。
- ・ノウハウの蓄積もあるのか、スムーズな全体進行と、中野区の受け止める体制も整ってきていると思った。

メンターについて

- ・やりたいことを好きなだけやらせてくれたことに感謝です。
- ・細かく色々な箇所で動いていただいた。
- ・素晴らしいサポートだった。
- ・メンターの絶妙なフォローに助けられた。

上記のほかにも、若者会議の改善に向けた意見・感想も寄せられました。

プログラムに関して

・緩いのが若者会議の良さではあるものの、緩すぎて出席回数のノルマ等もないため、欠席者が多い日の活動は一部のメンバーにかなり負担がかかってしまうこともあった。お互い様ではあるものの、ほとんど自分しか動いていないかもと感じる時もあり、しんどく思うときも多々あった。

・1期からのメンバーであっても、第3期として活動しているのであればフラットにして進めるべき。他団体の事例や講演においても「人」に注目されて「活動」が薄かったり、以前から活動する人に頼って、進めることが多くて、以前から活動する人が偉いみたいになっていたと感じる。

・何期であっても、全力でやらないなら、年度で切り替える意味がない。

・他団体の事例紹介の時間が長く、それによって活動時間が減るのは良くない。

区との連携に関して

・区役所へのヒアリング時の担当所管のミスマッチがあり、少しモチベーションが下がった。

提言準備に関して

・報告会でプレゼンをした後に、区役所の担当部署の方からのコメントがありましたが、コメントではなく質疑応答という形で、コメントに対して返答できる時間があればより良かったように感じます。

・課題点はあったが、区長との対話で解決できたので問題なし。

・当日の集客が少なかった。

・月1回の活動で提言まで持っていくことが少し難しかった。

チーム間の交流に関して

・他のチームとの交流をあと一步増やしたい

運営に関して

・コミュニケーションツールがLINEのオープンチャットのみでは、メッセージが次々と流れていってしまって、全員がキャッチアップして合意形成をするのが難しかったです。オープンチャットに加えてチーム別のNotionを使うなど、もう少しタスク管理がしやすいように工夫していただければ幸いです。

・初めての人にとっては、以前から参加している人の仲間意識が強く、なじみにくいと感じた。

・匿名性を高くするのは良いが、任意でオープンで話せる場所なども作って欲しい。やはり、個々でのやり取りが出来ないのは、進みが遅くなるし、匿名性が高い中、話が出しづらい。

観覧者アンケート

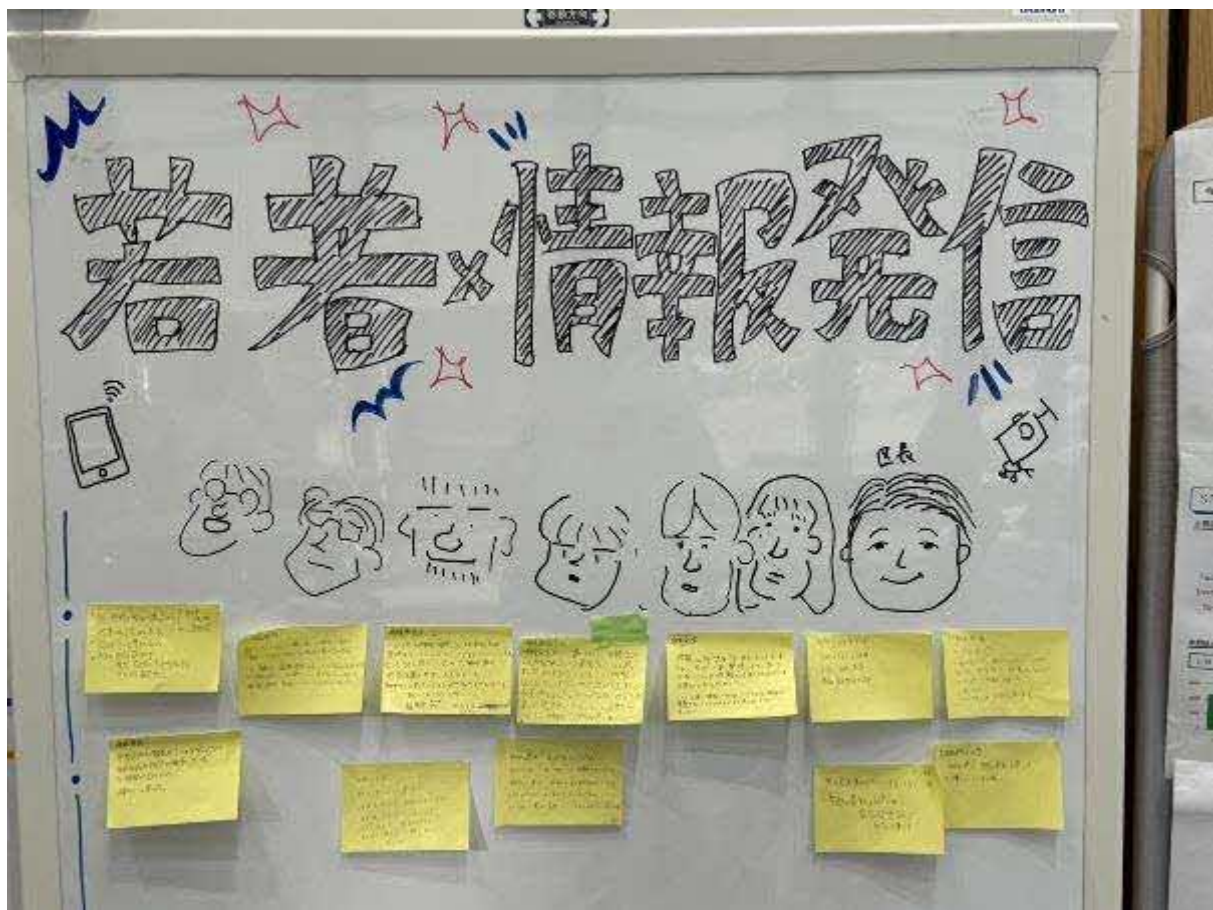
12月の報告会には、区長だけでなく、参加者のご家族、区役所関係者、他自治体や地域関係者など多くの方が観覧にいらっしゃいました(当日観覧者数：45名)。

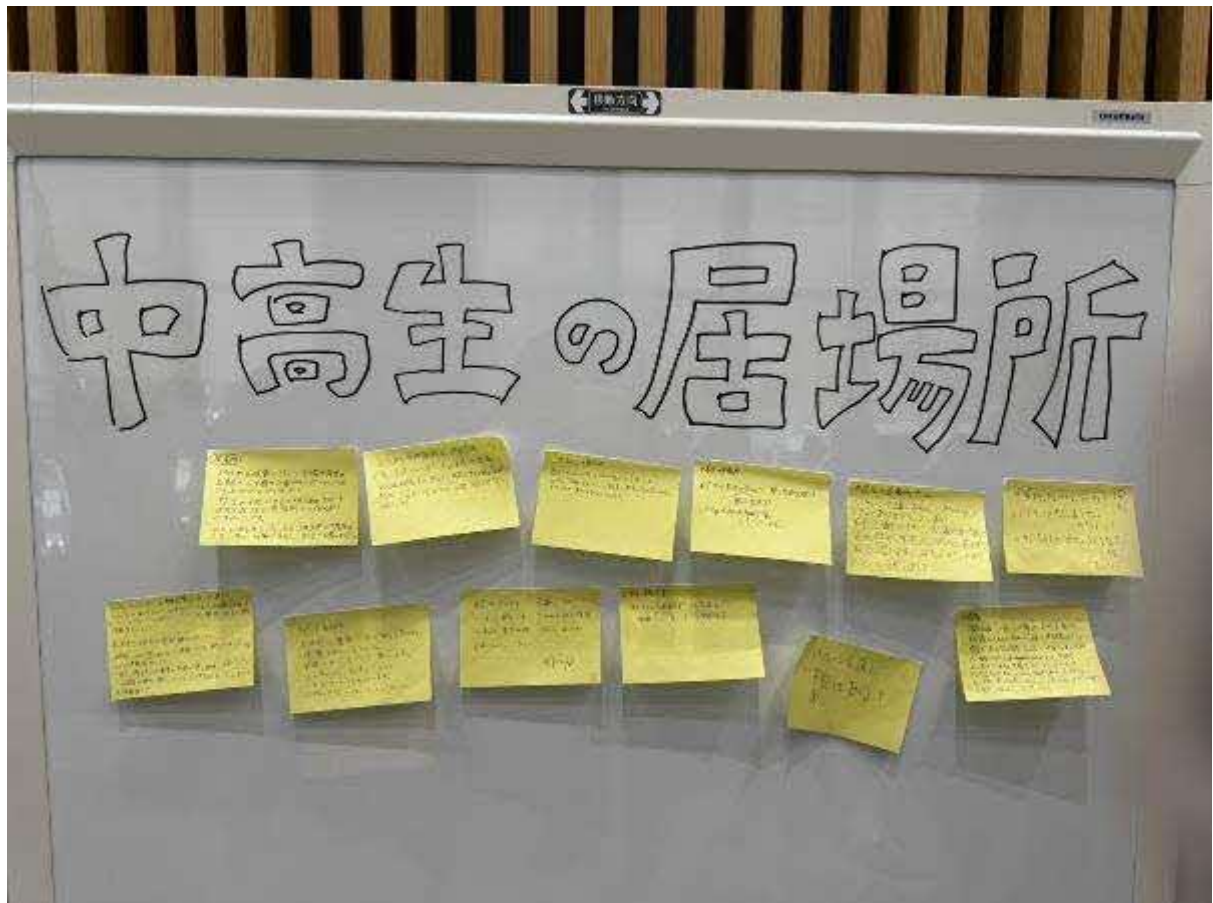
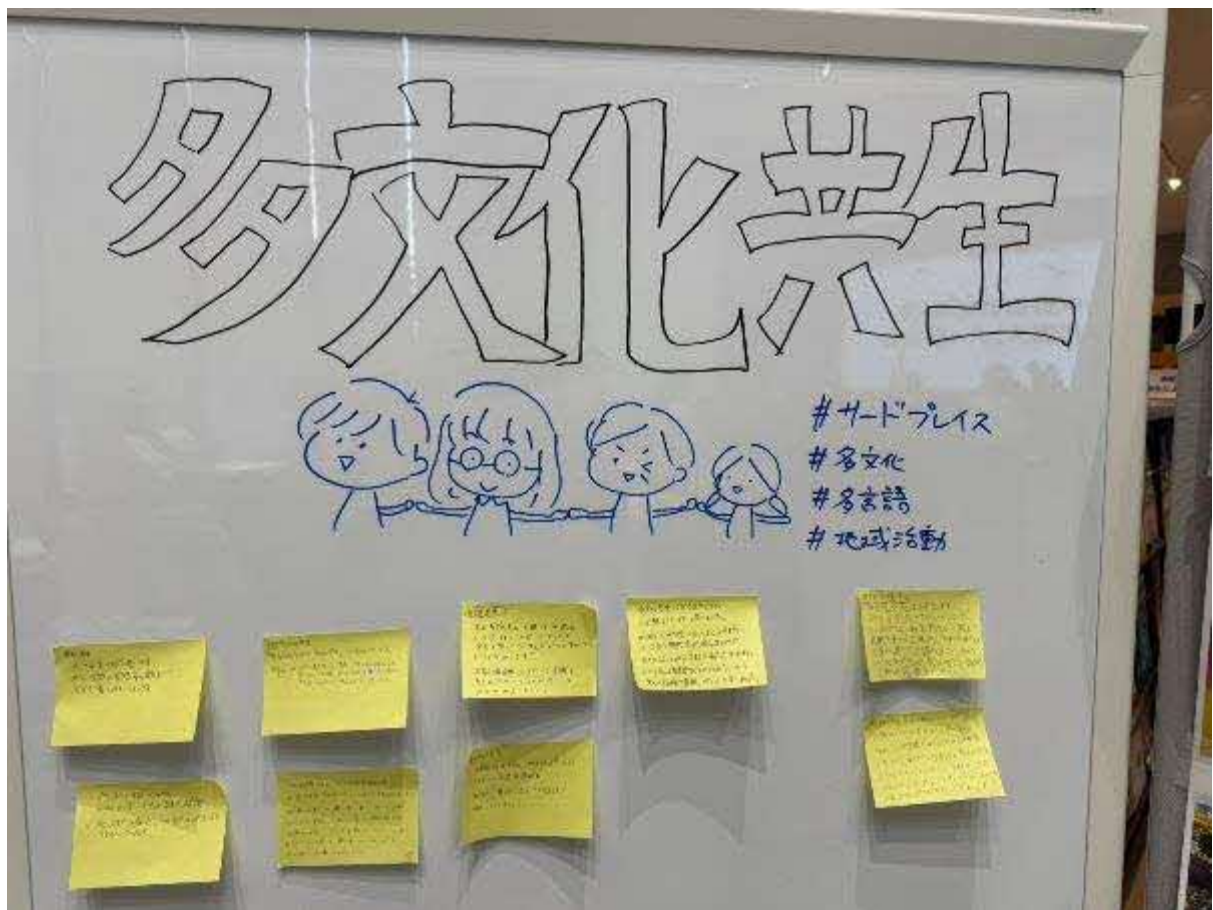
観覧の皆様からいただいたアンケートおよびコメントの一部をご紹介します。

属性	プレゼンテーションへの感想	そのほか感想
活動にご協力いただいた関係者	しっかりと取材して、提言していただいた。 区と協働で進めていければと思います。	
他自治体関係者	とても興味深い発表でした。 もっと深掘りする時間や提案実現のための予算的裏付け、区職員とのコミュニケーションの時間があれば更にブラッシュアップした提案になるのではないかと感じました。	こうした政策提言がある場が素晴らしいと感じました。 他自治体へ広がることを願っています。
参加者のご家族	すばらしかったです。これからの中野や日本の未来を担ってくれる若者のみなさんに期待し、できる限りの応援・お手伝いをしたいと強く感じました。	区の職員の方は、若者の提言に対し、具体的な所感や疑問を返すべきだと思います。(区長のように)現状ご自身の取り組みの発表や言い訳(のように聞こえる返答)は不要です。

属性	プレゼンテーションへの感想	そのほか感想
他自治体関係者	参加して本当に良かったです。報告書で内容は分かるけれど、リアルで聞けて、コメントなどもきくことが出来て良かったです。まちのことを自分ごとと考えられる、自己実現の場の中野区になっていくことが伝わってきてうらやましかったです。提言が具体的でデータも用いた発表で納得感、説得力がありました。これからも活動を応援しています！	投票など、リアルが伝わって良かったです。
若者会議の過去メンバー	1期、2期と想いを継いで、提言が具体的になっていると感じました。区の職員の皆様との連携もより密になり、ますます楽しみです。地域でたくさんのチャレンジを実現して下さい！	
若者会議の過去メンバー	・つながりや区への愛着、活動への熱量を感じました。 ・サミットは是非やってほしい。（区外で実施する場合は、補助を出してほしい） ・区で行われるイベントに出店しやすい仕組みができるとう良い。	去年と違い、開かれた場で報告会が出来るのが良い。
中野区役所関係者	区民目線でプレゼンが聴けて有意義でした。どの報告も職員の視点とは異なる「本当は考えている」ことが伝わってくる内容であった。継続してこそ良い深い効果の高い提言ができると思うので、テーマ継続性をもって活動できれば良いと思います。	中野区役所 1 階ナカノバで報告会をやったのはとても良いと思った。
中野区役所関係者	・このような機会に積極的に若者が取り組むことは、重要で心強いです。提言を一般区民にももう少しわかりやすくした方がよいと思います。（やや専門的になって来ています）がんばっていることは大いに評価するところです。	「居場所づくり」は、内容の報告が知れたかったところです。
中野ハイティーン会議経験者	・活動内容、提言、プレゼンの資料、どれもクオリティがとても高くて凄いと思いました。 ・区のラインや若者会議の魅力など発表を通して新しい発見がたくさんありました！	5年後私も若者会議の一員として中野と関わってみたいです。職員の方は区役所内でペットボトル禁止というルールは環境をよくしていくための実践的なルールだなと思いました

属性	プレゼンテーションへの感想	そのほか感想
中野ハイティーン会議経験者	居場所：ハイティーン会議と若者会議の関係を明確にすることでそれぞれに大きなメリットがあつていいと思いました。 情報：プレゼン（提言）を聞いて、あらためてネット社会でのPRの仕方はむずかしいなと思いました。 多文化：様々な文化をもつ出身が異なる人が集まり同じ目標を目指して交流することこそが多文化交流なのだと気がつきました。 環境：様々な環境への取り組みで中野区全体が環境への取り組みができれば良いと思います。	提言会がまさかこんなにはなやかな場所で行われているのだと知らず、とても楽しかったし、ワクワクしました！前半のハイティーン会議の座談会では、お兄さんお姉さん方のプレゼンをきいて、自分も、あぁなりたいなと思いました！これからもハイティーン会議メンバーの活動にごじん力たまわれればうれしいなと思います。
中野区役所関係者 中野区内地域団体	・自分たちの街を自分たちでつくっていくという主体的な活動が素晴らしいと思います。プレゼンテーションも構成がしっかりしていてわかりやすかったです。 ・ナカノバを利用したのも良かったと思います。 1年毎に切り替わるからこそ、先送りしない意見交換ができているのだと思う。	・この報告会を是非中野に住む、通う高校生に見てほしい。意見表明の考え方やスキル、ひとりよがりにならない物事の考え方が学べると思います。報告会の冒頭5分でかまわないので、前年の提言に対して区がどのようなアクションを起こしているのか、区からの報告も聞きたいです。（できないならできないなりに）区が聞きっぱなしになっていない報告会の場にする事で、今後の活動がより充実した、現実味のあるものになるのではないかと思います。 ・若者との共生を考えることを目的としたミドル会議（40歳～69歳）、シニア会議70歳～）があってもおもしろそう。2年に1回くらい「ハイティーン」・「若者」・「ミドル」、「シニア」合同で「中野未来会議フェス」開催とか？
区内在住者	SNSを活用して中野区民・区外への情報発信はすごく良いと思いました！ ①情報が構造的に整理されていてとてもわかりやすい。これから中高生になる世代(小学生など)やその両親に、本活動の内容を認知させる活動もすすめてほしい。いつか子どもを参加させたいと感じた。 ②ストーリーがわかりやすくクリエイティブさを感じた。SNSはターゲットごとにアカウントを分けたほうがよい。媒体ごとではなく、もっと細かく分けて運用するということ。	







中野区は、若者のチャレンジを応援します。

若者会議3期の提言にこめられたヒントを、次のステップにつなげられるよう、事業を進めていきます。

今後とも、みなさんのご参加をお待ちしています！

(発行) 中野区子ども教育部育成活動推進課

(受託事業者：認定NPO法人カタリバ)

(TEL) 03-3228-5648

(MAIL) kenzenikusei@city.tokyo-nakano.lg.jp